

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
② 一問一答方式

質問件名 家庭ごみ有料、戸別収集の検証について

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

2019年4月1日から家庭ごみ有料化・戸別収集が始まり、1年が経過としています。10月1日付の市報特集号でごみの量などの速報値が公開され、ごみ減量の効果が示されました。多くの市民からも、自分が出すごみのことを考えるようになった、戸別収集で助かっている、などの声を聞いています。

しかし一方で、集合住宅のごみ置き場がきちんと設置されておらず散乱している状況や、分別されていないため収集してもらえない状況も目にします。

家庭ごみ有料化・戸別収集事業の事前の説明会では、指定収集袋の価格なども含めて実情をみながら事業開始後に検証していくとのお話がありました。検証の際は市民の声を積極的に聞く必要があると考えます。

複雑になった分別をわかりやすく説明し、今後の小平市のごみ減量のために以下質問します。

- ① 事業を開始し、ごみの量はどのくらい減りましたか。燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみの直近の減少した量をお示ください。
- ② 事業開始以降、見えてきた課題と寄せられている苦情の内容についてお示ください。
- ③ 事業を検証するには市民意見を聞くことが欠かせません。どのような機会を設定しますか。
- ④ 高齢者などは、ごみを分別したいと思ってもできないことがあります。どのように対応していますか。
- ⑤ 集合住宅の近隣の方から、ごみ置き場を設置してほしいとの声を聞きます。どのように対応していますか。
- ⑥ 収集されたペットボトル、プラスチック製容器包装、小型家電は最終的に主に何にリサイクルされていますか。
- ⑦ ペットボトルや使用済みおむつ、歯ブラシなどを製造、販売業者が回収しリサイクルする事業があります。ごみの減量には大変有効ですが、リサイクル時の環境負荷もあわせて考える必要があります。見解をお示ください。
- ⑧ ごみの減量の目標をどう掲げますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

令和2年2月13日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

26	25	24	23

-(/)